

毎週日曜発行
2018 2/11

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



かほピョンは、東松島市の「おのくん」が気になるんだ。かわいらしいおサルさんの姿だけど、それだけじゃないみたい。おのくんを調べてみたよ。

おのくんが生まれたきっかけは、東日本大震災でした。東松島市の小野駅前応急仮設住宅に暮らす被災者(ひさいし)に、おサルさんの姿をしたかわいらしいぬいぐるみが贈られたのです。ぬいぐるみはソックモンキーといって、アメリカ生まれでした。

おのくん

(東松島市)

苦しい状況の中で、大切な人を書いて作ったソックモンキーを、仮設住宅に住むお母さんたちも作り始めました。がんばりすぎないための合言葉は「めんどくしえ」。でも、この方言には「面倒をおかけしてごめんなさい」という照れ

今からずっと昔の1930年代、世界恐慌によって多くの人が貧しい暮らしをしなくてはいけなかった時代に、アメリカのお母さんが靴下の中に布切れを入れて、子どものために縫ったのです。

隠しの意味もあるのです。お母さんたちは、世界中の支援に感謝の気持ちをこめつつ、ときどき「めんどくしえ」とつぶやきながら、ソックモンキーを作り続けました。

ゆるキャラです

②

みんなで集まってお裁縫をする場所は、被災したお母さんたちの心のよりどころになりました。ぬいぐるみには「おのくん」という名前がつけられ、東松島の復興を願う



靴下から誕生 各地に家族

キャラクターとなったのです。「お母さんたちの思いのこもった、おのくんを買いたい」という人たちのところにも、行くことになりました。



おのくんを手にすることは、里親、つまり家族になること。だから「できるだけ東松島市に

て、見て、おのくんの家族になってほしい」。お母さんたちは願っています。

おのくんの誕生には、そんな秘密があったんだね。おのくんは、着ぐるみの「でっかいおのくん」にもなっているんだって。かほピョンも今度、東松島までおのくんに会いに行ってみよう。



作り手の個性で形がちよとずつ違うのも味わいがあります

おのくん 2012年東松島市生まれ。チビ(約10万円)、小(約13~20万円)、普通(約20~25万円)の3種類で、1体1000円。連絡先は0225(98)8821。

今週の注目ニュース

◇12日(月) ジャイアントパンダの記念シンポジウム(東京国立博物館)
シャンシャンのお父さんのリーリーと、お母さんのシンシンが上野動物園に来て7年たったのを記念して飼育担当者らが講演するイベントだよ。

◇13日(火) 国民栄誉賞授与式(東京・首相官邸)
スポーツ、文化、芸能で業績を残した人に贈る賞を、将棋界初の「永世七冠」を達成した羽生善治さん、囲碁で初めて2度、七冠を独占した井山裕太さんが受賞するよ。

きょうの紙面

2 イマ★どき

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7 かほくワークシート

8 投稿特集